

株式会社オーイーシー

大分県および大分県内 16 市町村のガバメントクラウド接続を実現

株式会社オーイーシー（本社：大分県大分市、代表取締役社長：加藤 健、以下「オーイーシー」）とネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：竹下 隆史、以下「ネットワン社」）は、大分県および 16 市町村が共同で利用する、ガバメントクラウド接続ネットワーク環境の設計・構築および利用開始後の運用保守サービスを提供したことをお知らせします。

大分県大分市を拠点とするオーイーシーは、事業所の情報化企画、IT で実現できるソリューション提案、受注ソフトウェア開発・導入・運用支援、事業所内ネットワーク構築・仮想基盤構築、クラウドコンピューティングサービス、AI・IoT などの先端技術研究開発を主たる業務としています。

ネットワン社においては、ICT インフラの設計・構築・運用を専門とする企業で、安全で信頼性の高いネットワーク環境の提供により、DX 推進を支援しています。

本事業においては、ガバメントクラウド接続支援などの行政インフラにおいて全国的に実績が豊富なネットワン社と協業することにより、大分県内における既存の環境を活かした回線設計・構築、顧客視点に立った運用体制の整備などの包括的な価値提供を可能としました。

■案件の背景

デジタル庁では、政府共通のクラウドサービスの利用環境であるガバメントクラウドを用いて、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化を推進しています。

全国の地方公共団体は、令和 7（2025）年度末までに「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に従い、基幹 20 業務におけるシステム標準化への対応が必須であり、同時にガバメントクラウドへの移行も努力義務とされています。

大分県においては限られた期間の中で、デジタル庁の厳しいセキュリティ要件に準拠した、ガバメントクラウドへの移行や接続環境の構築が求められていることから、対応を開始しました。

■案件の特長

1. ネットワン社との協業体制

「豊の国ハイパーネットワーク」「豊の国 IaaS」など、弊社とネットワン社が過去に手掛けた既存環境を、ガバメントクラウド接続において活用することで、機器の集約化や導入期間の短縮などを実現。

また、弊社にて大分県内自治体の基幹系システムの運用保守業務を請け負っていることから、ガバメントクラウド接続向けの運用サービスについても、問い合わせ窓口を集約する体制でご提供。

これにより、基幹系システムとガバメントクラウド接続について障害発生時に分けて問合せをする必要なく運用が可能となり、各自治体の担当者に発生する作業・調整事項などの業務負荷の削減に寄与。

2. 構築の自動化により 1 か月で 16 市町村分のアカウントを導入

IT インフラをコードで構築・管理する IaC(Infrastructure as Code)を用いて、ガバメントクラウドに 16 市町村分のネットワークアカウントを構築。

ガバメントクラウドの環境構築において IaC 活用がデジタル庁からも推奨されており、ネットワン社のこれまでの実績・知見を活かし、本件では 1 か月で 16 市町村分の構築試験を完了させ、短期間での構築を実現。

16 市町村分共通の設計内容であることにより、導入時の工数削減や均一な品質の実現だけでなく、今後発生するメンテナンス等も全団体分をタイムリーに対応することが可能。

3. Managed ONE ガバメントクラウド接続運用サービスの提供

ガバメントクラウド利用開始後は、ガバメントクラウドのネットワーク運用管理補助者として、ネットワン社独自の「Managed ONE ガバメントクラウド接続運用サービス」の提供を予定。

主に以下のサービスを提供し、今後のガバメントクラウドの利用を包括的にサポート。

ー AWS ネットワークアカウントの各種セキュリティアラートの収集・報告・対応を

Growcx（カスタマーサクセスポータル）を通じて行う。

ー 今後ガバメントクラウド上で提供されていく標準システムのアプリケーションアカウントと

ネットワークアカウントとの接続設定などを運用の中で対応。

ー デジタル庁から提供されるセキュリティ等の適用必須のテンプレートの更新など随時対応し、最新のガバナンス設定で運用を行う。

■今後の展望

弊社パーパスの「Action!Playful! ～テクノロジーと人間力でウェルビーイングな社会を実現する～」をモットーに、大分県内を中心に全国の地方公共団体における DX 推進を引き続きご支援してまいります。

■会社の紹介

株式会社オーイーシーについて：

株式会社オーイーシーは、1966 年に大分県大分市で旧：大分電子計算センターとして設立。1990 年に現在の社名に変更し、日本におけるコンピュータ商用化の創成期から現在に至るまで、ICT を基盤とした社会の実現のためのソリューションを提供しており、近年は AI・IoT・ドローンといった先端技術も積極的に取り入れ研究開発をしています。

大分本社・東京本社（二本社制）、西日本支社（京都）、福岡支社、その他営業所を拠点に全国的に活動しています。

ネットワンシステムズ株式会社について：

ネットワンシステムズ株式会社は、優れた技術力と価値を見極める能力を持ち合わせる ICT の目利き集団として、その利活用を通じ、社会価値と経済価値を

創出するサービスを提供することで持続可能な社会への貢献に取り組む企業です。

常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、自社内で実践することで利活用ノウハウも併せてお届けしています。

本件に関するネットワン社のプレスリリース：

ネットワンシステムズ、大分県および16市町村のガバメントクラウド接続を実現

～地元SIer企業との協業で、設計・構築・運用まで包括的に支援～

https://www.netone.co.jp/news/release/20250602_01.html